

平成27年度 第1回
奈良市社会教育委員会議
会議録

平成27年6月5日会議

平成27年度第1回奈良市社会教育委員会議会議録			
開催日時	平成27年 6月5日(金) 午後2時から午後4時 まで		
開催場所	奈良市教育センター 8階 中講座室8-2		
出席者	委員	大井委員、岡田龍委員、岡田善委員、奥田委員、粕谷委員、北畑委員、小北委員、高田委員、立石委員、峠委員、中井委員、中村委員、服部委員 【計13人出席】 (谷口委員、畑中委員は、欠席)	
	事務局	教育総務部長、学校教育部長、生涯学習課長、生涯学習課課長補佐、生涯学習財団事務局長	
開催形態	公開(傍聴人 0人)	担当課	教育総務部 生涯学習課
議題 又は 案件	1 平成27年度社会教育関係事業について ①「平成27年度補助金交付社会教育団体」について ②「平成26年度社会教育委員事業実績」について ③「平成27年度社会教育委員事業計画」について 2 小委員会での検討事項報告 ①社会教育目標の簡易ポスター作成について ②平成26年度第2回奈良市社会教育委員会議定例会アンケート調査結果について ③教育委員との意見交換会について 3 その他		
決定又は 取り纏め 事項	1 「平成27年度補助金交付社会教育団体」の承認 2 「平成27年度奈良市社会教育目標」の簡易ポスターの承認 3 教育委員との意見交換会の開催及び内容を決定		
議事の概要及び議題又は案件に対する主な意見等			
1 平成27年度社会教育関係事業について ①「平成27年度補助金交付社会教育団体」について(資料1) ・社会教育に関する事業を主たる目的とする社会教育団体4団体に補助金を交付予定である。			

<特に意見等はなく、補助金交付について承認された>

②「平成26年度社会教育委員事業実績」について（資料2）

- ・資料のとおりであることを説明した。

<特に意見等無し>

③「平成27年度社会教育委員事業計画」について（資料3）

- ・各種大会の詳細な通知が届き次第、委員の方々に案内することを説明した。

<特に意見等無し>

2 小委員会での検討事項報告

①社会教育目標の簡易ポスター作成について（資料4）

- ・社会教育の広報活動の一つとして、平成27年度奈良市教育目標の一部を活用して、社会教育目標の簡易ポスターを作成した。ポスターはA3サイズでカラーコピー、ラミネートし、市内公民館24館に今月中に掲示する予定である。また、ホームページにも掲載する予定である。

⇒社会教育目標の簡易ポスター作成及び掲示について承認された。

【委員からの意見等】

- ・公民館以外に掲示する予定はあるか。
→今のところ、まず公民館24館に掲示することを考えている。それ以外の掲示については検討していく。
- ・地域で回覧する方法もある。印刷代との兼ね合いもあると思うが、公民館に掲示するだけではもったいないので、配布方法を考えてほしい。
- ・公民館を利用する方は限られている。しみんだよりに一緒に入れることは可能か。
→しみんだよりへの掲載は紙面が限られているので難しい。しみんだよりと別に入れることは可能だが、予算の関係上難しい。今後、アピールの方法については検討していきたいと考えている。

○岡田副会長より、小委員会で検討した下記②、③について説明。

②平成26年度第2回奈良市社会教育委員会議定例会アンケート調査結果について（資料5）

- ・アンケートの調査結果より、社会教育委員の役割として「教育委員会の諮問に応じて意見を述べる」ことを選択している方が多かった。また、社会教育委員の活動や生涯学習・社会教育の重要性をアピールしたいという意見が多かった。これ

に関しては、教育委員との意見交換会を開催し、生涯学習や社会教育に対するお互いの考えを聞いて、意見交換を行いたいと考えている。

- ・アンケート結果より、社会教育委員の認知度があまり高くないとの共通の思いが委員の方々にあることが分かった。社会教育委員の位置づけが明確となるよう、今後動いていく必要がある。
- ・社会教育委員会議が、市の社会教育・生涯学習を発展させる上で機能していくことで、社会教育・生涯学習の存在感が高くなり、注目されるようになればと思う。

③教育委員との意見交換会について（資料6）

- ・意見交換会の目的としては、社会教育に対する教育委員の考えを知るとともに、学校教育と社会教育の連携・協力のきっかけづくりになればと考えている。
- ・社会教育委員から具体的にどのような内容を伝えていくかについては、生涯学習を取り巻く背景、社会教育委員の活動、その活動における課題と展望についてお話ししたいと考えている。

【委員からの意見等】

- ・昔に比べ、会話が少なくなった。挨拶をしない子どもが多くなった。人間関係を構築していくためには、会話をする、和やかな雰囲気にする必要がある。子どものときから挨拶をする、会話をする、これは大人も然りで、その雰囲気を子どもに教えていくということが社会教育の原点であると思う。

⇒教育委員との意見交換会には、小委員会メンバー5人が出席することが承認された。また、意見交換の内容についても承認が得られた。

3 その他

○大綱について（事務局より説明）

- ・地方教育行政の組織及び運営に関する法律が改正され、平成27年4月1日に施行された。
- ・改正により、各地方公共団体に対し、教育に関する「大綱」を首長が策定することが義務付けされた。
- ・大綱とは、教育の目標や施策の根本的な方針のことで、国の教育振興基本計画における基本的な方針を参酌して定めることとされている。
- ・大綱策定の際は、社会教育委員のみなさまの意見を伺いたいと思うので、協力をお願いしたい。

○各委員から日頃の活動を通じて感じることや考えを聞いていくこととなった。

(A委員)

- ・奈良市人権教育推進協議会から出席している。各小学校区に人権教育推進協議会

を設置するため、未設置のところへお願いに行くなどの活動を行っているが、なかなかできない。

- ・公民館の人権学習としては、自主サークルに呼びかけて、人権に関する学習をしているが、講座数が減っている。
- ・学校の先生は地域のことを知らないように思う。学校側もこの状況を把握しており、学校の先生から地域を勉強したいので教えてほしいという要望がきている。地域の中の学校は重要なもので、学校・子どものためならば何かしたいという思いがある。

(B委員)

- ・今日の午前中、民生児童委員が主体となり、研修会が開催された。
- ・子どもがいじめを受けていることがわかり、解決のため動いている。教育委員会にも関わってくると思われるので、相談にのってほしい。

(C委員)

- ・幼稚園、小学校、中学校にボランティアに行っている。
- ・昨年、小中一貫教育の説明会が PTA に対し行われたが、小中一貫教育は各校区で始まっているのか。
→4月から全校区で小中一貫教育が始まっている。同じ校区に住む子どもたちを中学校の出口のところでこういう子どもに育ててほしいという同じ目標を持って小学校と中学校で育てていく取組を進めている。また、指導する中身としては、英語教育や総合なら（世界遺産学習）など共通の指導内容を組み込んでいる。

(D委員)

- ・定例会は年に2回しかないので、親睦を深め、会議でも意見が出しやすい雰囲気になるよう、ワークショップや懇親会など交流が深まる場を設けてもいいかと思う。
- ・現場で得ている社会教育情報を出し合うことによって、次年度の社会教育行政の政策決定に活かされる素材になればいいと思う。

(E委員)

- ・東部山間部に住んでいるが、少子高齢化がすすんでおり、小学校、中学校が統合された。子どもたちが地域を誇れるよう地域教育協議会のメンバーとして活動している。小中学校の統廃合により、地域の範囲が広範囲となり、いかに地域のふれあいの場を多くつくるかを考えている。

(F委員)

- ・4月から自治会長となり、住みよい地域を目指している。都祁地域の高齢者率は33%で、小倉地域は37%で、高齢者の割合が多く、子ども、若者が少ない。しかし、10月の秋祭りには、地域を出ていた若者が帰ってきて、人口が倍になる。こういうも

のを続ければ、住みよい町になるのではと思う。社会教育、生涯学習が住みよい地域をつくるためのきっかけとなればと思う。

(G委員)

- ・学校で挨拶の指導をしなければならないと考えている。以前は、学校に入る前に挨拶できるようになっていたが、今はそうではない。勤務校でも全生徒が挨拶できるよう、教員に指導している。しかし、地域差がある。また、子どもがよく挨拶する地域は、地域の方もよく挨拶をする。家庭の中でも挨拶することや地域、学校、家庭の連携が必要だと思う。
- ・教員が地域を知らないという意見があったが、勤務校の目標の一つを「学校を誇れる学校にしよう」としている。そのために子どもたち自身が誇れるようにならないといけないと指導している。「総合なら」という教科の中で、地域を知るための学習をしている。地域の方と学校を結ぶパイプ役は校長が担っているが、校長は2～3年で代わってしまう。地域と学校のパイプ役を学校の先生にしてほしいが、若い先生が増えており、土日の活動に子育て等の理由で出てこれない現状がある。地域と学校をつなぐものを構築していかなければならないと考えている。

(H委員)

- ・体育協会に所属している。
- ・社会教育主事講習を受けたことがあるが、その中で学校教育と社会教育は車の両輪となり発展することで世の中がよくなると学んだ。各委員がそれぞれの団体等で活動することが社会教育委員の本来の役割だと思う。
- ・人間関係が希薄になってきている中、社会教育こそ一番大事だと思う。

(I委員)

- ・挨拶をしない子どもや大人が多いので、直していかなければならない。また、公共施設の受付においても挨拶をしないところがある。受付を開放的な構造にするなどの工夫ができないか。
- ・小中一貫教育に関して、子どもが少なくなっていく中、この制度をうまく活用して子どもたちに感化を与えられるよう周囲が見つめていかなければならない。

(J委員)

- ・社会教育は多岐多彩にわたり、いろんな場所で、年齢や目的、やり方も違う。社会教育委員会議の役割や社会教育委員の立ち位置を考えなければならないと思う。
- ・会議を離れたところで交流を深め、お互いに得たり、新しいものに気が付いたりといった時間を持つことも必要である。

資 料	<p>【資料1】平成27年度補助金交付社会教育関係団体一覧</p> <p>【資料2】平成26年度社会教育委員事業実績</p> <p>【資料3】平成27年度社会教育委員事業計画</p> <p>【資料4】社会教育目標の簡易ポスター（案）</p> <p>【資料5】平成26年度第2回奈良市社会教育委員会議定例会アンケート調査結果</p> <p>【資料6】教育委員との意見交換会概要</p>
-----	---